

# IXIL リビング建材

## グランドライン ラフィス 室内ドア ライン枠 取付け説明書



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

### ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲警告** …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲警告

●下記のような医用電子機器を使用されている方は、操作を行わないでください。

各医用電子機器に誤作動をまねくおそれがあります。

(1)ペースメーカー等の体内埋込型機器 (2)人工心肺等の生命維持用機器 (3)装着型の心電計等

### ▲注意

●本体を取付けた後、枠側丁番(上)の軸部が本体側丁番(上)のロックねじが締められて外れないことを目視と本体をゆすって確認してください。ロック板で固定されていないと本体脱落の原因になります。

●建付け調整後 本体・枠への固定ねじ及び丁番本体の固定ねじが締まっていることを必ず確認してください。丁番固定ねじの締め忘れ、ゆるみなどは、本体脱落の原因になります。

●ドアストッパー床付け部品のフラップが立ち上がったままになっている場合は、必ず手で倒してください。思わぬケガをするおそれがあります。

●扉を開放しておくときは、必ずドアストッパーのロックレバーを下げて扉を固定してください。

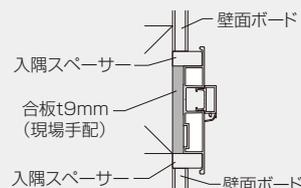
扉が強風で強く閉まり思わぬケガをするおそれがあります。

●2人以上で作業してください。1人作業では商品の転倒などによりケガや躯体、商品の傷付きが発生するおそれがあります。

### ▲注意

#### 【両入隅の場合】

●戸先側が入隅になる場合、縦枠裏面に9mmの合板を張付けてかさ上げして枠を取付けてください。かさ上げしない場合、ドアの開閉により壁に傷つきが発生します。



### ■取付け上のおお願い

●本製品の上枠は天井のふところに納まります。枠を躯体に取付けた後に、天井ボードの施工を行ってください。

●本製品は床材の上に納まる仕様です。

●縦枠下端はカットしないでください。本体を吊込めなくなります。

●本製品は本体が天井高さで納まります。搬入や吊込み時など天井面、壁面にキズを付けないよう注意してください。

●枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。

●造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。

かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。

●かい木は躯体(柱、胴縁含む)と同じ幅のものを使用してください。

●現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。

●本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。

締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。

●各部材のガイド穴にゴミが入らないようにしてください。

●本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)

●壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから取付けしてください。

●造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。

●造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。

●造作材・建具枠の下地材及び、かい木には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。

●枠の組立て後、揺らす・ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

●丁番は指定のねじで締め付け、ガタツキのないように固定してください。調整後ガタツキがないことを確認してください。

●戸当りは、ハンマーなどで直接たたき込まないでください。

●ドアストッパーを壁に取付ける場合は、補強材が入っていることを確認してください。

●枠は倒れ、傾き、たいこ、つづみ、ねじれがないように取付けてください。

●納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。

(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)

●本体は落下させたり、立てかける時に衝撃を与えないでください。本体部品が損傷し、開閉に支障をきたす原因になります。

●軽量鉄骨に直接取付ける場合は、同梱のねじでは取付けできません。現地にて鉄骨までかかる長さのねじを手配してください。

●製品取付の際の建具養生時に表面シートにテープ(ガムテープ、養生テープ、マスキングテープなど)を直貼りしないでください。テープを剥がす際、表面シートを傷めたり、テープの粘着剤が表面シートに付着したまま残ることがあります。

●運搬・加工の際は、傷つかないように取扱ってください。

## ■本体保管上のお願い

- 本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。  
・直射日光の当たる場所 ・昼夜などで温度差の激しい場所 ・湿気の多い場所
  - 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。

## ■部品・部材の明細

ドア本体		枠			
ハンドルセット(別売り)	錠セット(別売り)	丁番セット(別売り)		入隅スペーサーセット(別売り)	
埋込沓すりセット(別売り)					

### ■枠セット明細

	標準ドア
縦 枠	2
上 枠	1
戸当り	縦2・上1

### ■ハンドルセット明細

ハンドルセット	1組
台座セット	1組
ハンドル固定ねじ	1本

### ■錠セット明細

錠座セット	1組
-------	----

### ■本体用みえナイソウ ドアSTOPパー床付け部品セット明細

床付け部品	1個
床付けカバー	1個
床付け治具	1個
床付け部品取付けねじ (皿タッピンねじφ3×12)	2本

### ■入隅スペーサーセット

入隅スペーサー	2本
接着剤	1個

### ■部品セット明細

#### 標準ドア用

枠組立て用 ナベタッピンねじφ4×35	4本
上枠・縦枠取付け用 トラストッピンねじφ4×50	13本

#### 埋込沓すり用

取付け用ナベタッピンねじφ4×40	4本
-------------------	----

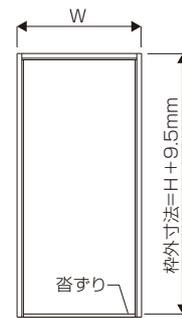
### ■丁番セット明細

上側丁番	本体側上丁番	1個
	本体カバー	1個
	枠側上丁番	1個
	化粧カバー	1個
下側丁番	本体側下丁番	1個
	本体カバー	1個
	枠側下丁番	1個
	化粧カバー	1個
	枠側取付け用皿小ねじM4×10	10本
	枠側取付け用皿タッピンねじφ4×10	1本
	本体側取付け用皿タッピンねじφ4×40	8本
	枠側取付け用皿小ねじM4×23	4本
	枠側取付け用皿タッピンねじφ4×20	6本

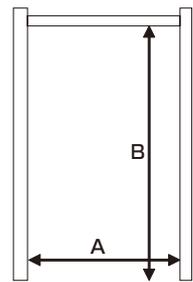
※ MDF 枠用の為、ライン枠では使用しません。

### ■開口部の作り方

#### ●製品寸法



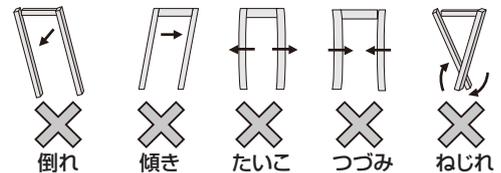
#### ●開口寸法



納め	A	B
平入り	製品寸法+10mm	製品寸法+5mm
両入隅	製品寸法+14mm	製品寸法+5mm

- ① 下げ振りを使って柱が垂直になるように取付けてください。
- ② 水準器、曲尺を使ってまぐさが柱と垂直で水平になるように取付けてください。

※柱、床、まぐさの水平・垂直がでていないと、枠が下図のようになり、不具合現象につながります。



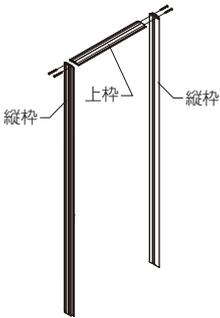
■ 施工のながれ

お願い

- ※本製品の上枠は天井のふところに納まります。枠を躯体に取付けた後に、天井ボードの施工を行ってください。
- ※本製品は床材の上に納まる仕様です。
- ※縦枠下端はカットしないでください。本体を吊込めなくなります。

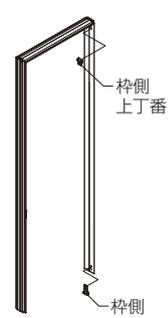
1 枠の組立て

▶ 4/11 ページ



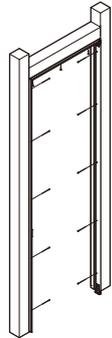
2 枠側丁番の取付け

▶ 4/11 ページ



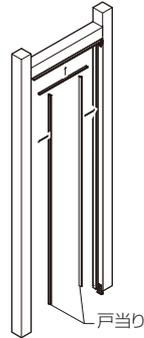
3 枠の取付け

▶ 5/11 ページ



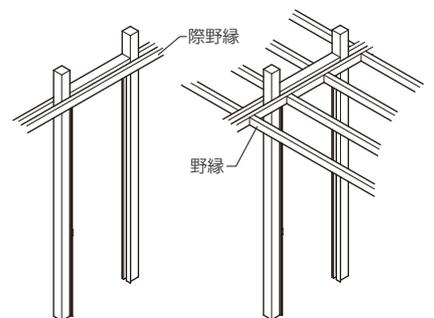
4 戸当り取付け

▶ 6/11 ページ



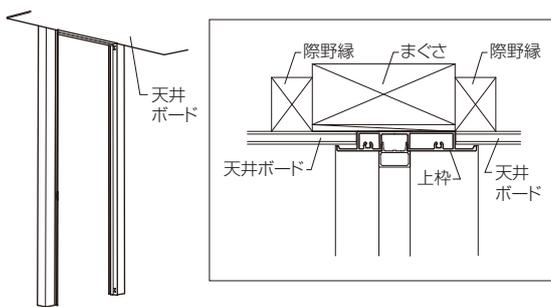
建築工事

5 天井下地の施工 ▶ 6/11 ページ



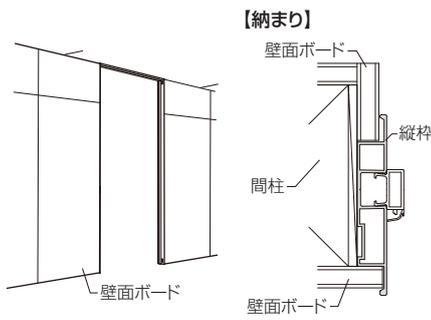
6 天井ボードの施工

▶ 6/11 ページ



7 壁面ボードの施工

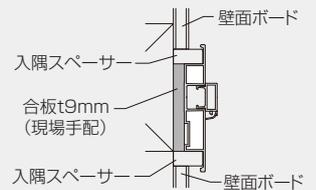
▶ 6/11 ページ



▲ 注意

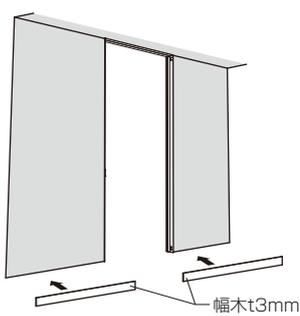
【両入隅の場合】

- 戸先側が入隅になる場合、縦枠裏面に9mmの合板を張付けてかさ上げして枠を取付けてください。かさ上げしない場合、ドアの開閉により壁に傷つきが発生します。



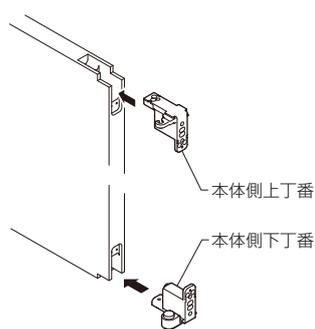
8 クロス、幅木の施工

▶ 6/11 ページ



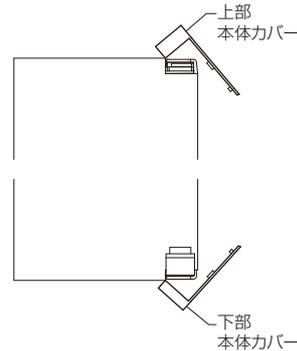
9 本体側丁番の取付け

▶ 7/11 ページ



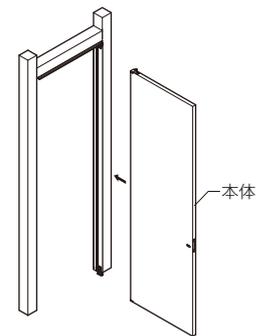
10 本体カバーの取付け

▶ 7/11 ページ



11 ドア本体の取付け

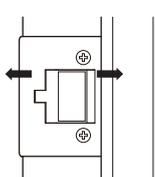
▶ 7/11 ページ



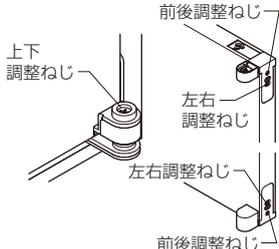
12 建付け調整

▶ 8/11 ページ

・ストライクによる調整

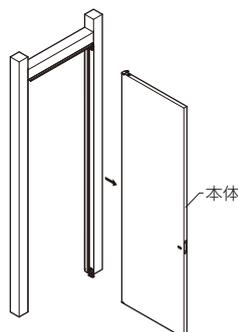


・丁番による調整



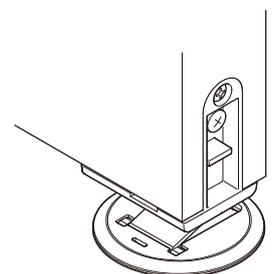
13 本体の取外し方法

▶ 9/11 ページ



14 みえナイゾウドアSTOPパー床付け部品の取付け

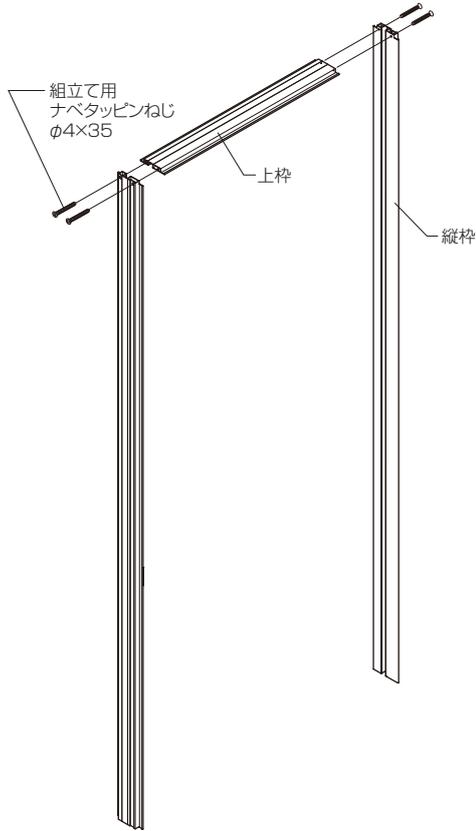
▶ 9/11 ページ



## ■取付け順序

### 1 枠の組立て

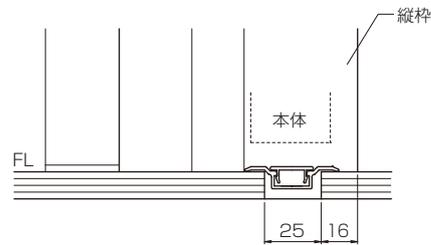
- 下図のように各部材を組合わせ、同梱のねじで固定します。



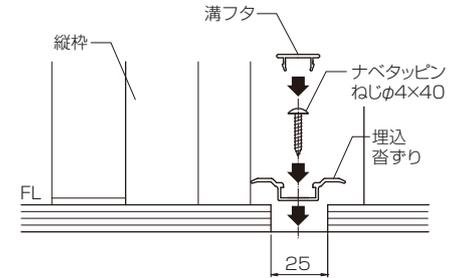
### 【埋込沓すりを使用する場合】

#### ●埋込沓すり

- ①補強材を必ず入れ、下図の位置に25mmあけて床材を張ります。  
※躯体に縦枠を仮止めして位置出しをしてください。

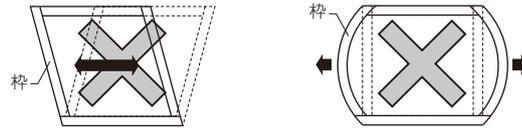


- ②埋込沓すりを、戸当たりに接する位置にねじ止めし、溝フタをはめ込みます。



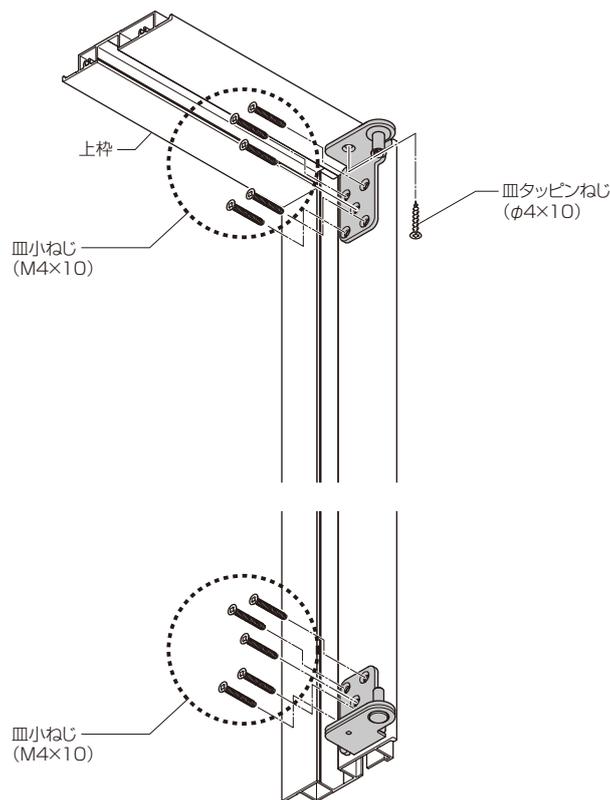
#### お願い

- ※ガイド穴にゴミなどが入らないようにしてください。
- ※ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下などの原因となります。
- ※枠組立て後、揺らす・引張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因となります。



### 2 枠側丁番の取付け

- ①縦枠に皿小ねじ(M4×10)で取付けます。
- ②枠側上丁番と上枠を皿タッピンねじ(φ4×10)で固定します。



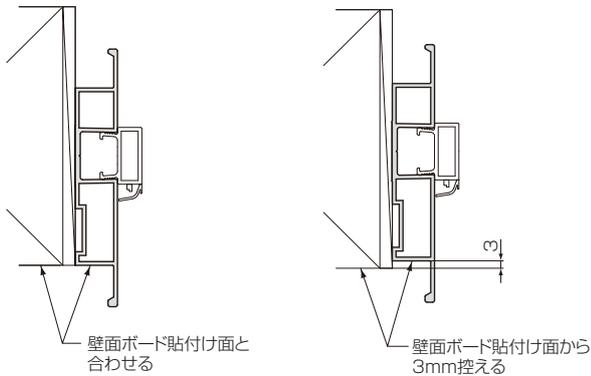
### 3 枠の取付け

- 枠の取付けは同梱のねじ(トラスタッピンねじφ4×50)で取付けてください。
- かい木は柱幅と同じものを使用してください。

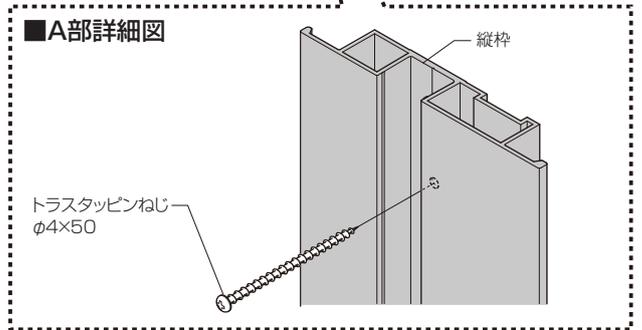
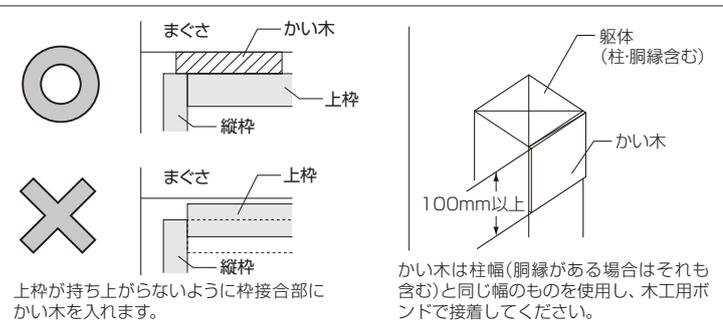
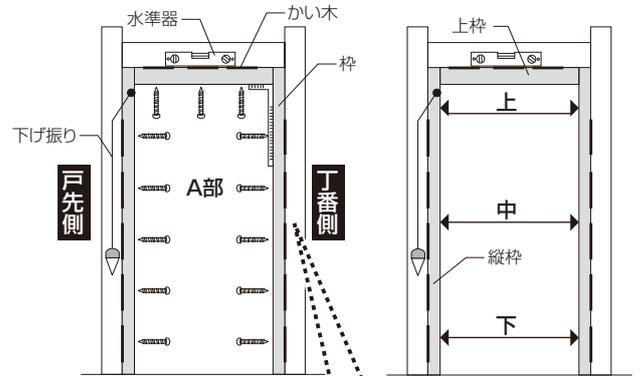
#### 【平入り納まり】

##### 枠の取付け位置

- 壁面ボード厚 12.5mmの場合
- 壁面ボード厚 9.5mmの場合

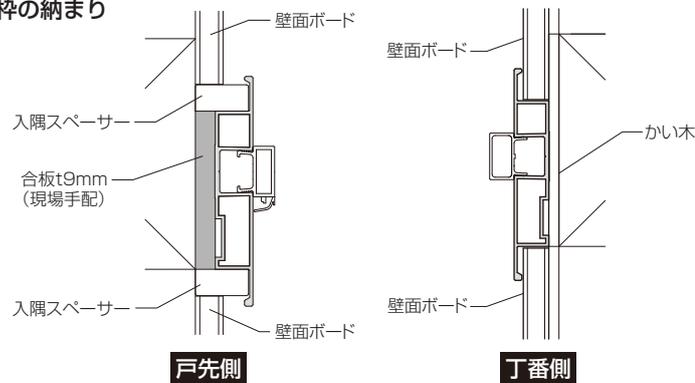


下げ振り、水準器を使用し、かい木ですき間を調整しながら水平、垂直、開口幅を出し、枠を固定してください。



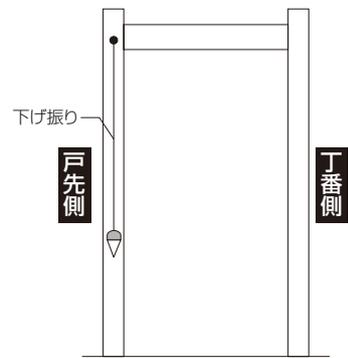
#### 【両入隅納まり】

##### 枠の納まり

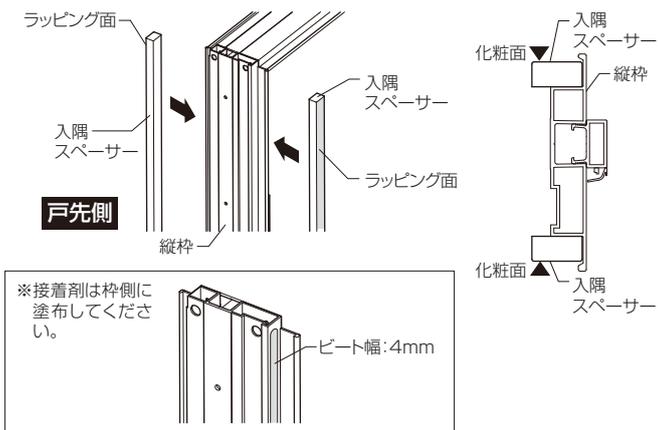


- 戸先側が入隅になる場合、縦枠裏面に9mmの合板を張付けてかさ上げて枠を取付けてください。かさ上げしない場合、ドアの開閉により壁に傷つきが発生します。

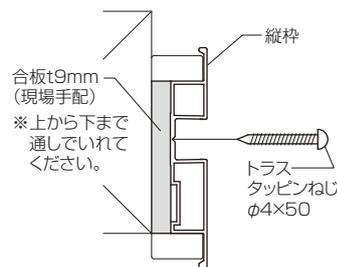
①下げ振り、水準器などを使用し、戸先側の間柱の垂直を出してください。



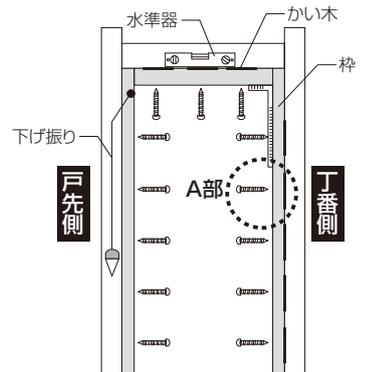
②戸先側の縦枠に入隅スペーサーを縦枠長さに合わせて切断し、スペーサー同梱の接着剤(ポリチューブ)で縦枠に張付けてください。



③t=9mmの合板が縦枠と間柱の間にるようにして、戸先側の縦枠を取付けてください。

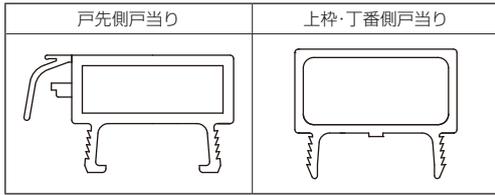


④上枠、丁番側縦枠を下げ振り、水準器を使用し、かい木ですき間を調整しながら水平、垂直、開口幅を出し固定してください。

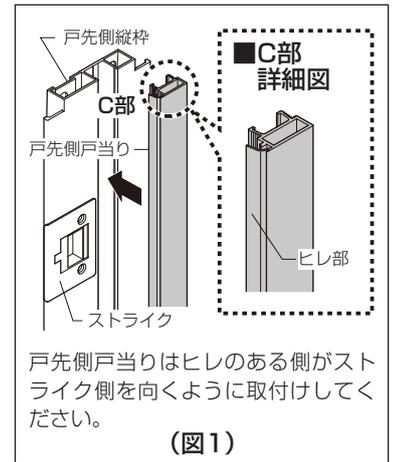
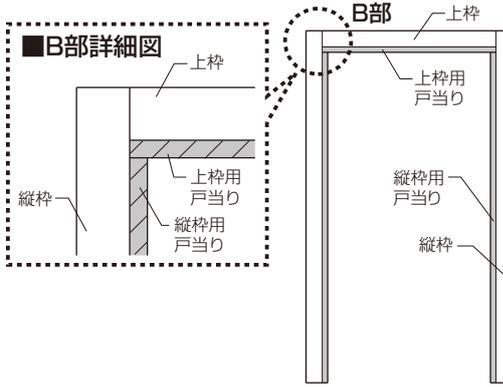


#### 4 戸当りの取付け

※戸先側と丁番側で戸当り形状が異なります。事前に確認してから取付けしてください。(図1)



- ①現場で戸当りの寸法を合わせて切断してください。
- ※戸当りは、埋込沓より先に取付けてください。
- ※上枠用→縦枠用の順に取付けてください。



戸先側戸当りはヒレのある側がストライク側を向くように取付けしてください。

(図1)

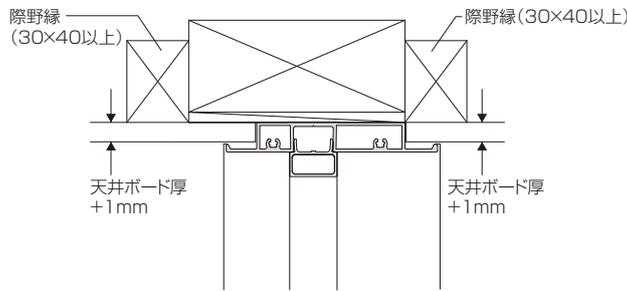
お願い  
※ハンマーなどで直接たたき込まないでください。

### 建築工事

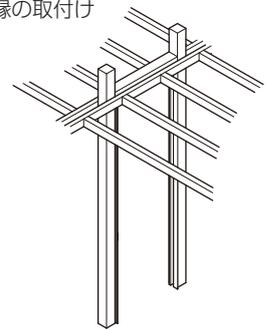
#### 5 天井下地の取付け

##### ● 際野縁の取付け

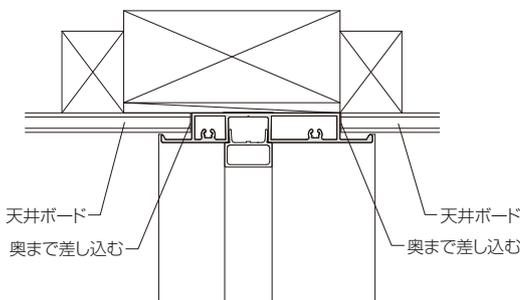
枠と際野縁のすき間が天井ボードの厚みになる位置に際野縁を取付けてください。



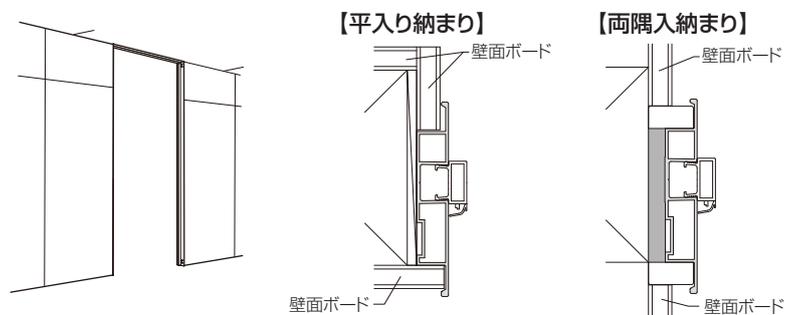
##### ● 野縁の取付け



#### 6 天井ボードの施工



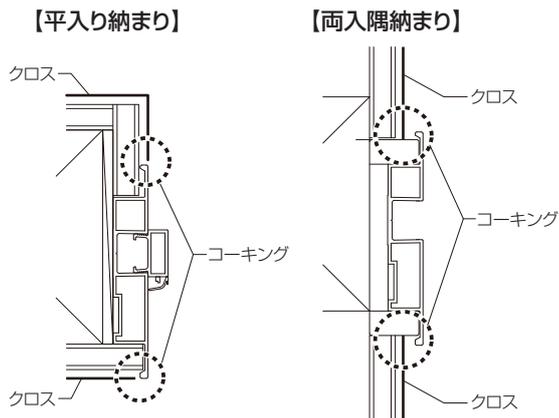
#### 7 壁面ボードの施工



#### 8 クロス、幅木の施工

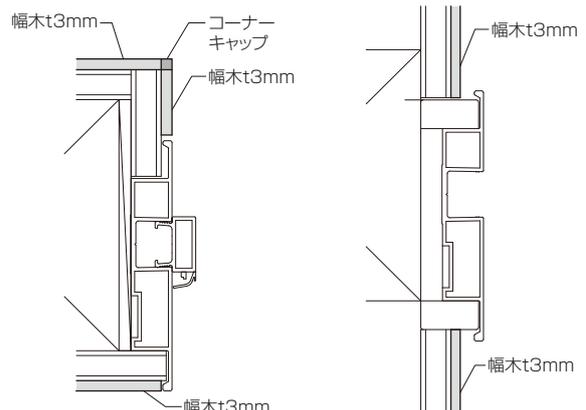
クロス⇒幅木の順で取付けてください。

##### ● クロス張り



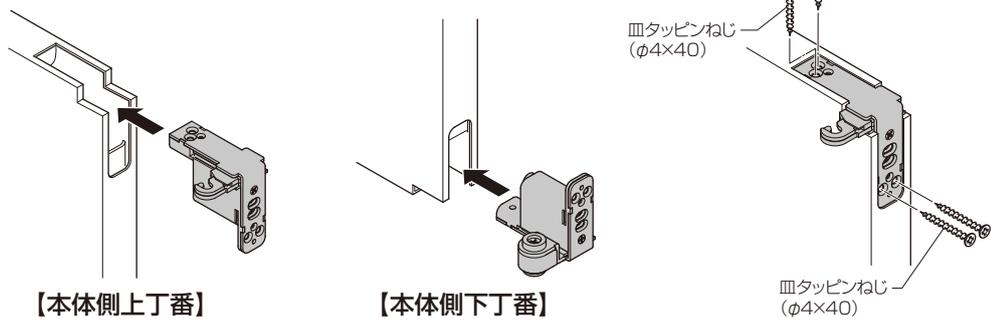
##### ● 幅木取付け

ソフト幅木用接着剤(ビニル重合系溶剤系接着剤)を使用し取付けてください。  
※幅木はクロスの上を取付けてください。



## 9 本体側丁番の取付け

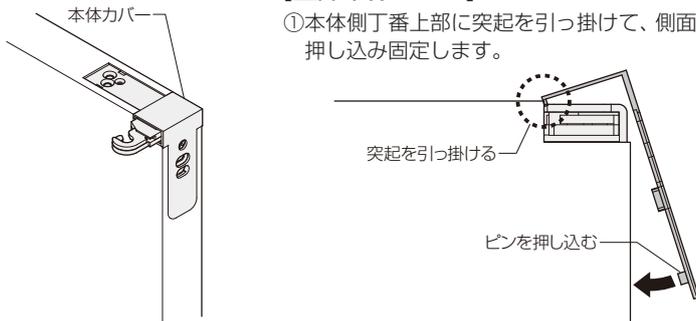
ドア本体に本体側丁番を皿タップピンねじ(φ4×40)で取付けます。  
 ※ドア本体は左右兼用です。取付けの際は、ドア本体の上下を確認してください。



## 10 本体カバーの取付け

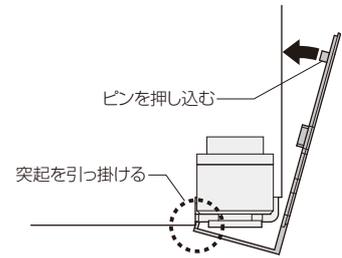
### 【上部本体カバー】

①本体側丁番上部に突起を引っ掛けて、側面のピンを押し込み固定します。



### 【下部本体カバー】

②本体側丁番下部に突起を引っ掛けて、側面のピンを押し込み固定します。



## 11 ドア本体の取付け

※本体取付け前に本体側上丁番のロックが解除されていることを確認してください。  
 ロック状態にある場合は【本体の取外し方法】より、ロックを解除してください。

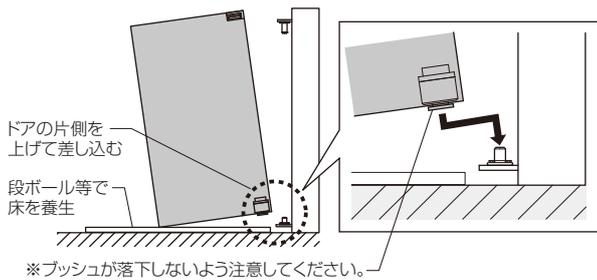
### 【ロック前】



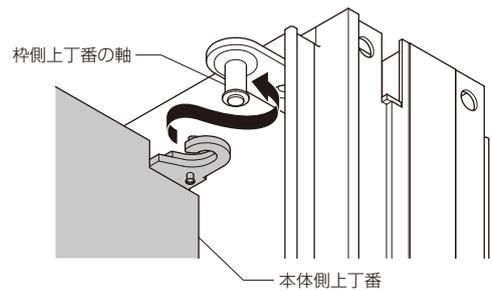
### 【ロック後】



①本体側下丁番の軸受に枠側下丁番の軸を差込みます。



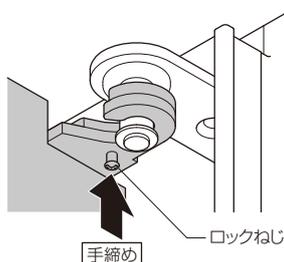
②本体側上丁番のフックを枠側上丁番の軸に引っ掛けます。



③本体側上丁番のロックねじを締め、上丁番をロックします。

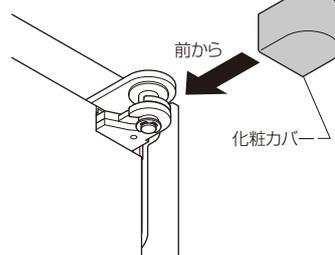
### ▲ 注意

ロックねじを締めたあと、上丁番がロック板で固定されて外れないことを本体をゆすって確認してください。ロック板で固定されていないと本体脱落の原因になります。

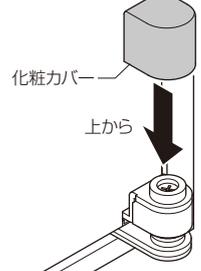


④上下それぞれ化粧カバーを軸部に取付けます。

### 【上丁番】



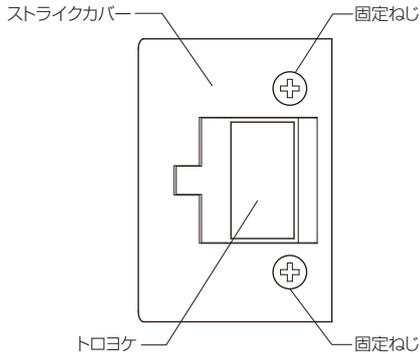
### 【下丁番】



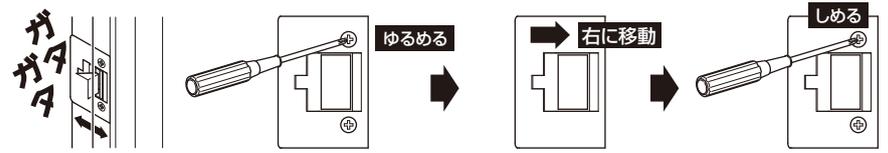
## 12 建付け調整

### 【ストライクによる調節】

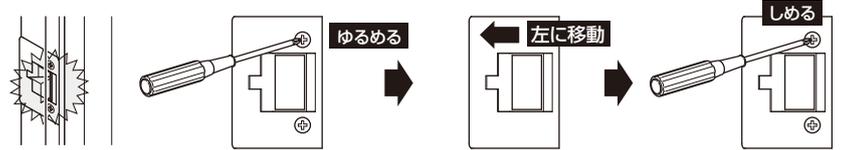
- 固定ねじ 2カ所をゆるめてください。
- トロヨケを手で左右に動かして位置を決めてください。
- 固定ねじ 2カ所を締めて固定してください。



### ■ラッチがストライクの中でガタつく



### ■ラッチがかからない



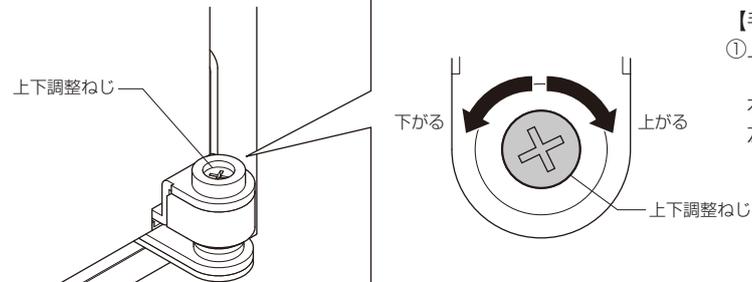
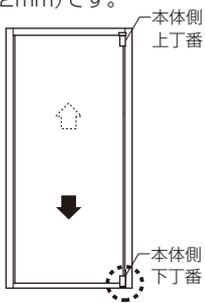
### 【丁番による調節】

- ※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。
- ※電動ドライバーは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。



#### 上下の調整

- 本体側下丁番で調整します。
- 調整幅は、上(2mm)、下(2mm)です。

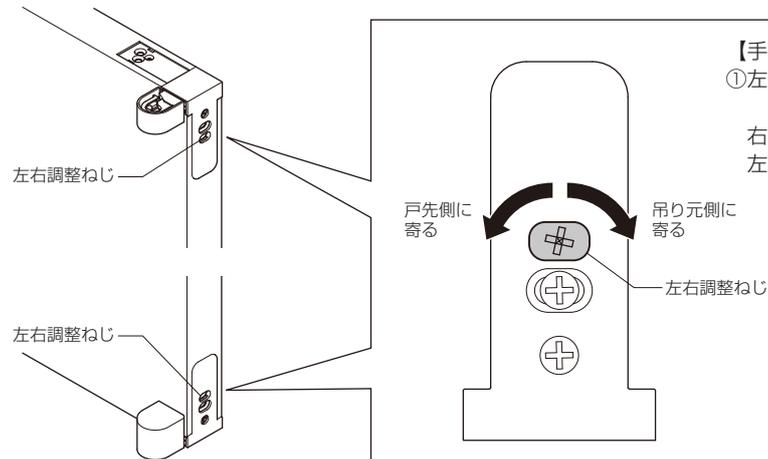
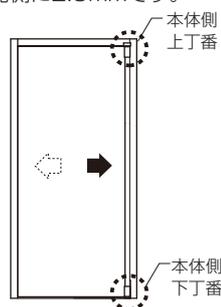


#### 【手順】

- ①上下調整ねじを回す。
- 右回し→上に上がる。  
左回し→下にさがる。

#### 左右の調整

- 本体側上丁番及び本体側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、吊元側に1.5mm、戸先側に2.5mmです。

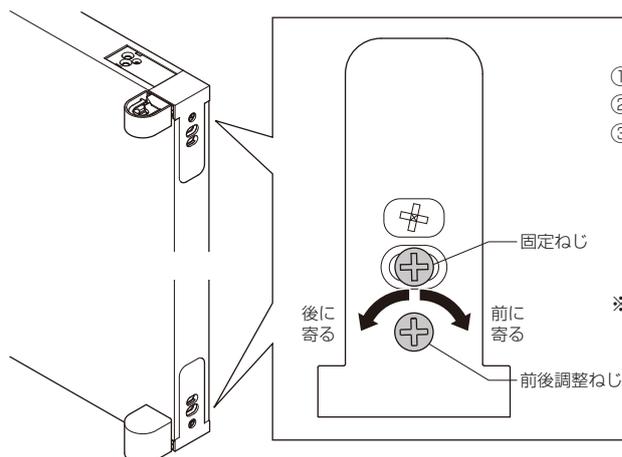
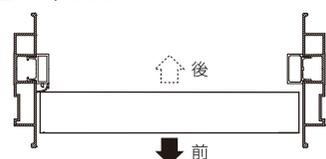


#### 【手順】

- ①左右調整ねじを回す。
- 右回し→吊り元側に寄る。  
左回し→戸先側に寄る。

#### 前後の調整

- 本体側上丁番及び本体側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、前(2mm)、後(2mm)です。



#### 【手順】

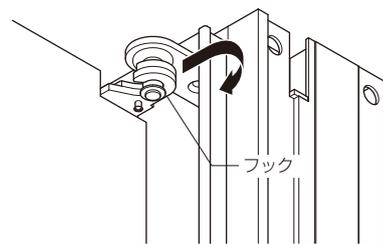
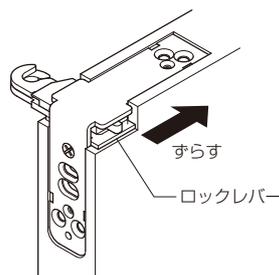
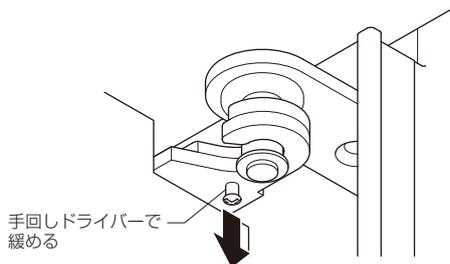
- ①固定ねじを緩める。
  - ②前後調整ねじを回す。
  - ③固定ねじを締める。
- 右吊の場合**  
右回し→前に寄る。  
左回し→後に寄る。
- ※左吊時は逆になります。  
右回し→後に寄る。  
左回し→前に寄る。

## 13 本体の取外し方法

※2人で作業を行ってください。

- ①取付けた時と逆の手順で、上部の化粧カバーと本体カバーを外します。
- ②ロックねじを緩めます。

- ③本体側上丁番のロックレバーを戸先側にずらした状態でフックを軸から外します。

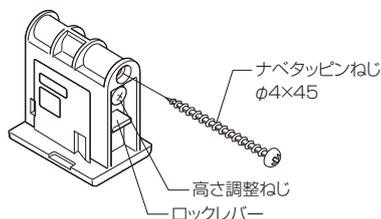


## 14 みえナイズウッドアストッパー床付け部品の取付け

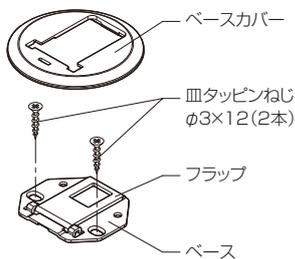
取付け上・取扱上のご注意

- 取付けは木質床材専用です。じゅうたん・クッションフロア等の軟質床材へは取付けできません。
- 取付け前に扉の建て付け調整を必ず行ってください。
- 取付治具を使用して扉と床の隙間の確認を行い、扉と床の隙間が 11 ~ 15mm となるように扉高さを調整してください。扉と床のすき間を 11mm 以下もしくは 15mm 以上にするとストッパーが作動せず、扉が壁などに衝突するおそれがあります。
- 床暖房システムを使用している部分では使用しないでください。
- 本製品のネジ締付時には手動ドライバーもしくはクラッチ付のドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ネジの空回り、ネジ頭部の破損、つぶれの原因となります。
- ロックが掛かった状態で扉本体にもたれかかったり、引っ張ったりしないでください。ストッパーが破損するおそれがあります。
- 磁気商品(テープ、カード、時計、精密機器等)を本体に近づけないでください。使用できなくなるおそれがあります。
- 受け部品(床付け部品)にワックスをかけないでください。作動不良の原因になります。万一ワックスをかけてしまった場合は、ワックスをきれいに拭き取ってください。
- 受け部品(床付け部品)にホコリ・砂がかかった場合は、掃除機などで取り除いてください。作動不良の原因になります。
- フラップに磁気を帯びさせないでください。作動不良の原因になります。
- 扉側部品にお湯をこぼしたり、暖房機器による熱風等を与えたりしないでください。故障の原因になります。

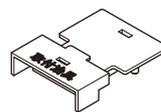
### 【部品の詳細】



本体(本体付け部品)



受け(床付け部品)



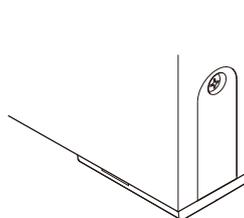
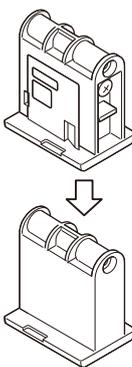
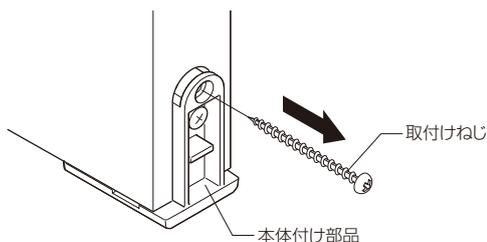
取付治具

### 【ドアストッパー機能を使用しない場合】

※下記対応で、ストッパー機能をなくすことが可能です。

- ①取付けねじをゆるめ、扉本体から本体付け部品を取外してください。

- ②本体付け部品をひっくり返し(木口面からロックレバーが見えない状態)、再び取付けてください。

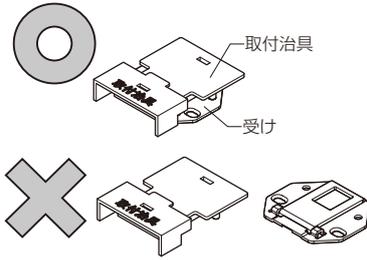


## 【取付け方法】

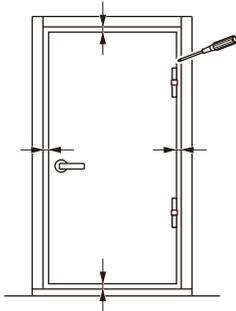
### ①取付け前の準備

①扉の建付け調整を完了させてください。  
 ※先に受けを取付けた後、建付け調整をすると、ドアストッパーが正常に作動しない場合があります。

②受けが取付治具と一体になっていることを確認してください。外れている場合ははめてください。

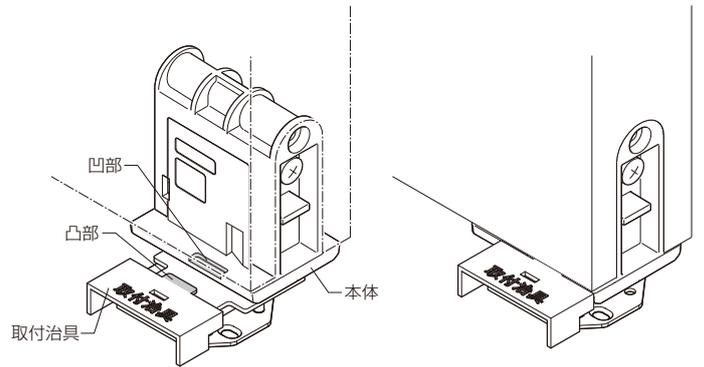


お願い  
 ※受けの取付けが完了するまで取付治具は外さないでください。



### ②取付け治具を本体にセットする

①取付治具の凸部を本体の凹部に合わせてセットしてください。

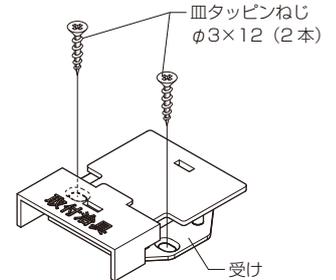
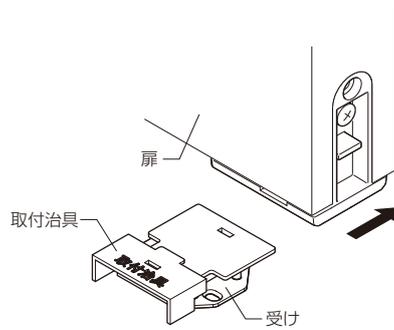
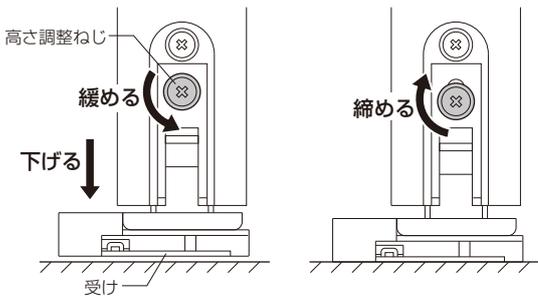


### ③受けを取付位置にセットする

①扉を停止させたい位置まで開き、その位置で本体の高さ調整ねじを緩め、受けを床面まで下げてください。受けが床面に接地したら高さ調整を締付け、本体を固定してください。

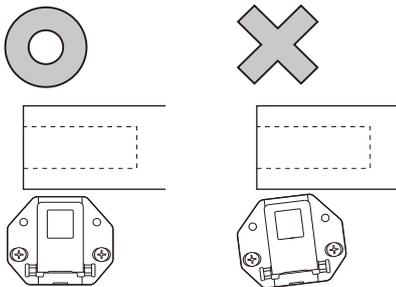
②取付治具、受けを動かさないように手で固定し、扉を移動させてください。

③受けの取付け位置に下穴をあけて付属のねじで固定してください。



### ④取付け状態および作動の確認をする

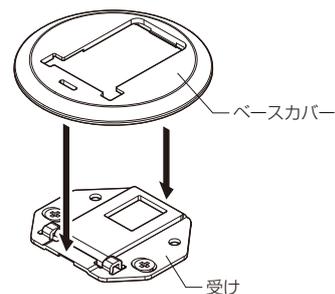
①正しく取付けられていることを確認してください。



②ロックレバーが上がっている状態で本体が受け部品の真上にくるように扉を開き、正常に作動するか確認してください。  
 ③ロックレバーを下げてロックができることを確認してください。

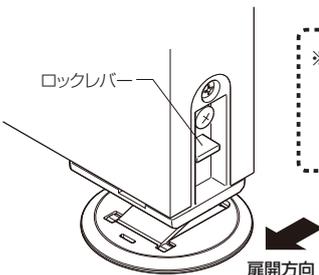
### ⑤ベースカバーをはめ込む

①必ず④の確認後、ベースカバーを取付けてください。  
 ②受けにカチッと音がするまでベースカバーをはめ込んでください。



## 【取扱い方法】

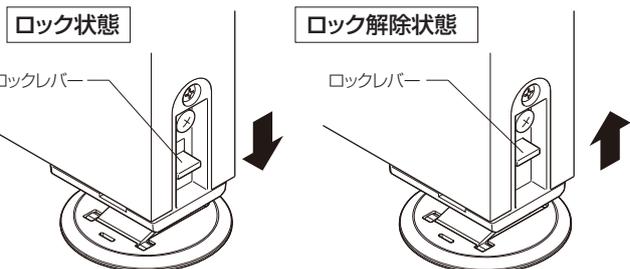
●扉本体が受け部品に近づくとフラップが立ち上がり、ストッパーが作動します。



お願い  
 ※ロックレバーを下げたまま扉を開閉しないでください。部品が破損するおそれがあります。

※扉本体の開く速度が速すぎると作動しなかったり、部品が破損するおそれがあります。

●ロックレバーを下げてロック状態にすると扉を開いた状態を維持します。



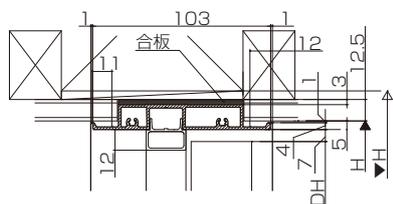
※ロックの際はフラップが本体の奥まで完全に入っていることを確認してください。  
 ※ロック解除の際は、ロックレバーを完全に上げてください。  
 ※ロックレバーを下げたまま扉を開閉しないでください。

■納まり図

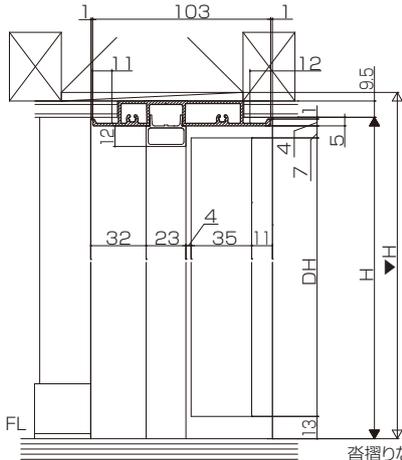
■標準ドア ライン枠

●縦断面図

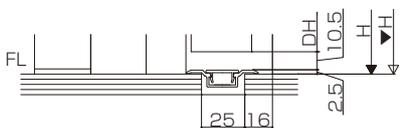
縦断面(PB12.5mm)



【推奨】縦断面(PB9.5mm)



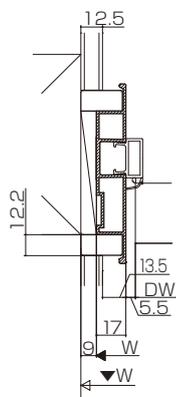
沓摺りなし納まり



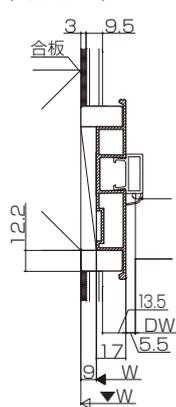
埋込沓摺り納まり

●横断面図

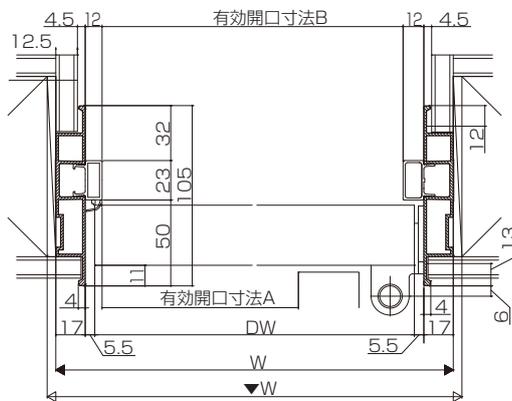
【推奨】両入隔納まり横断面 (PB12.5mm)



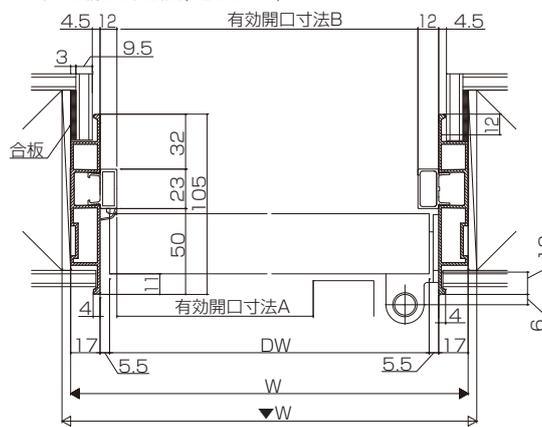
両入隔納まり横断面 (PB9.5mm)



【推奨】平入り納まり横断面(PB12.5mm)



平入り納まり横断面(PB9.5mm)



W呼称 (枠外寸)	W	DW	A	B
W06 (734)	734	689	617	678
W065 (754)	754	709	637	698
W07 (780)	780	735	663	724

H呼称 (枠外寸)	H	DH
H24 (2409.5)	2400	2375